

ほけんだより



国府高等学校保健室
平成29年 臨時号

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）が3年生を中心に数名発生しています。耳の下が腫れている、熱っぽい、口を開けると痛い等の症状があるときは、速やかに受診をお願いします。その際「3年生で数人、おたふくかぜが発生している」ことを必ず医師に伝えてください。

☆ 流行性耳下腺炎とは？

- 主症状**
- ① 38度前後の発熱(発熱しない場合もある)
 - ② 耳下腺(耳の付け根から頬・顎までの部分)の腫れ



ムンプスウィルスが原因で、飛沫・接触により感染し、2～3週間の潜伏期を経て発症します。耳下腺が腫れ、痛みが出ます。片方だけや左右とも腫れる場合があります。通常1～2週間で軽快します。最も多い合併症は髄膜炎です。その他、髄膜脳炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴、膝炎などを認める場合があります。

耳下腺部が腫れ始めてくる前後5日間がもっとも感染のリスクが高く、耳下腺の腫れが治まってきた頃には感染力は弱くなっていると言われています。潜伏期間でも人に感染させるおそれがあるので注意が必要です。感染しても症状が現れない不顕性感染もかなりみられ、30～35%とされています。この病気は終生免疫で、一度感染すると、抗体が一生継続と言われていています。ただし、ごく稀に再び感染する場合があります。

☆ 感染予防のために心掛けること

流行性耳下腺炎の予防は「予防接種」が最も効果があります。しかし任意の接種ですので、接種していない者もいます。そこで学校やご家庭でできる予防は以下の3つだと考えます。

- ① **石けんで手洗いをしっかり行うこと**
洗った後はハンカチ、タオルでしっかりとふきとること
ハンカチやタオルの共用はしないこと
- ② **部屋の換気**をすること
- ③ **睡眠・食事**をしっかりととり、体力を高めておくこと



☆ 出席停止について

「流行性耳下腺炎」と医師の診断がありましたら、出席停止扱いとなりますので必ず学校へお知らせください。



○ 学校保健安全法に基づく出席停止期間

耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。